

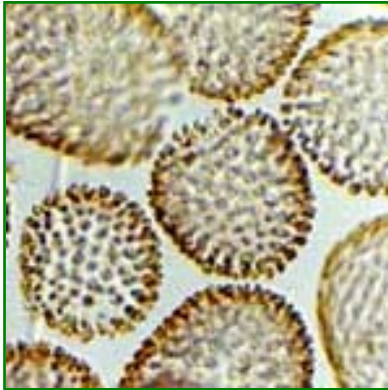
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第38報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年12月22日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Acanthocystis chaetophora
(アcantキスチス)
太陽虫類

体は球形で多くの偽足を放射状に出している。小型の太陽虫で軸足が非常に長いのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続き淡水赤潮の原因となるウログレナが多かった。ウログレナ以外にも細胞体積の大きいマロモナス(ナガミノヒゲムシ)や、やや小型のディノブリオン(サヤツナギ)などの黄色鞭毛藻の種が見られた。動物プランクトンも、引き続き太陽虫に属するアcantキスチス ケトフォラが、多く見られた。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	940

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	570

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年12月22日

第38報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1700		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	72		
(黄鞭) <i>Dinobryon cylindricum</i>	20		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	60		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	60		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	30		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	20		
(珪) <i>Melosira distans</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	60		
(珪) <i>Eunotia</i> sp.	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	140		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	300		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	260		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i>	40		
(緑) その他の緑藻	80		
<i>Chroomonas coerulea</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1982	64.9	71.4
(珪) 珪藻綱	250	8.2	5.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	440	14.4	16.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	380	12.5	6.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3052	総体積	1.74E+06
種 類 数	23	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし * 印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。